

人 口	78,361	前月比	+39
男	37,696		
女	40,665		
世帯数	19,217		+41

おおだて

◆ 編集と発行 大館市役所
 ◆ 発行年月日 昭和44年12月1日
 ◆ 発行日 毎月 1 日
 定価 1 部 5 円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

守ろう 火事から身と財産

昨年の二丁目大火を思いだそう。まちななめつくした火魔の恐ろしさは、まだ記憶に新しく、身ぶるいさえ感ずる。火災復興が進んでいるとはいえ、罹災された方たちの再建は、血と汗にじむ、涙ぐましい努力が強いられている。一瞬にしてうばわれる財産、ときには尊い生命さえうばってしまう火事、二丁目の大火から得た経験をおぼろげに、火の元には、十分注意したいものです。

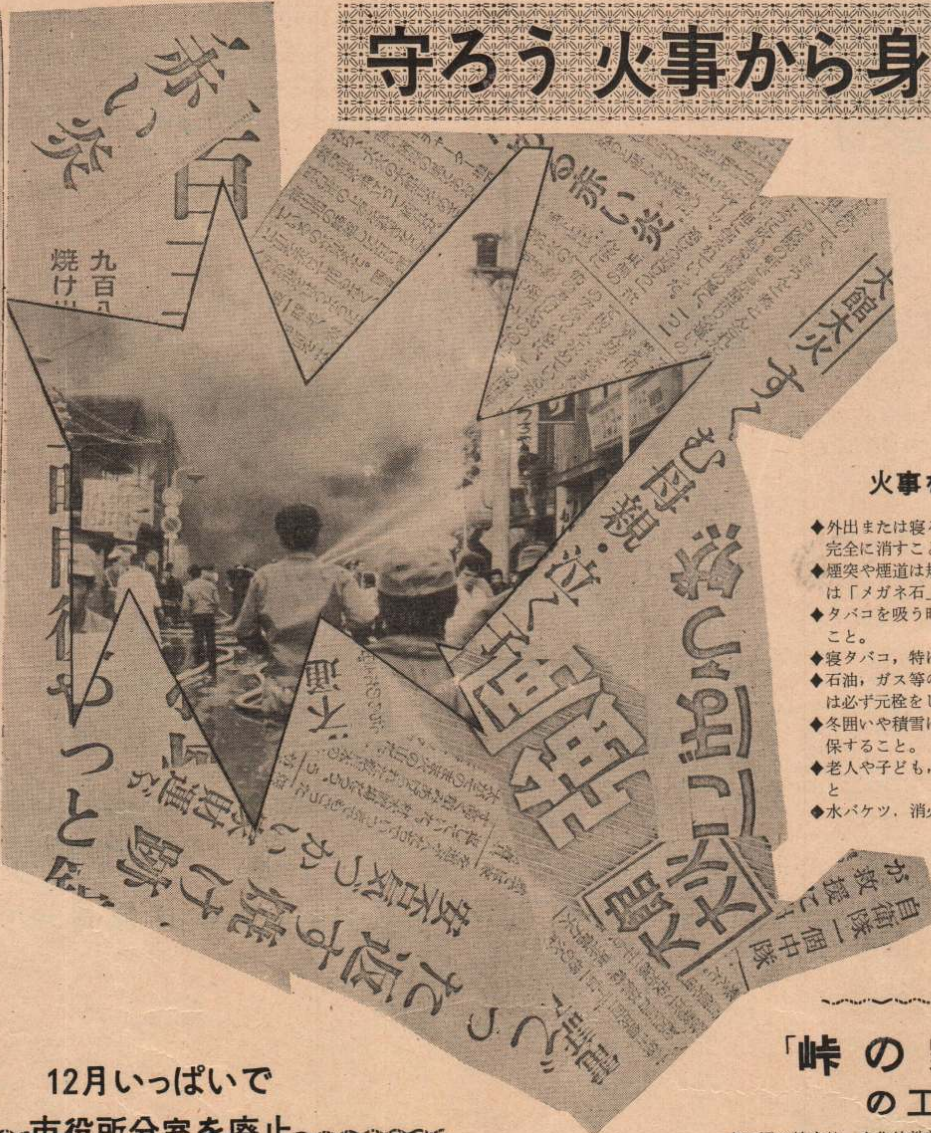
火事をなくするために

- ◆ 外出または寝る前は、火気の使用箇所を必ずみて、完全に消すこと。
- ◆ 煙突や煙道は規定どおり取り付け、煙突の貫通部には「メガネ石」を使用すること。
- ◆ タバコを吸う時は灰皿を用意し、吸殻は完全に消すこと。
- ◆ 寝タバコ、特に酩酊時の寝タバコはつつしむこと。
- ◆ 石油、ガス等の燃焼器具は正しい取扱いで、使用後は必ず元栓をしめること。
- ◆ 冬囲いや積雪により避難口をしや断れないよう確保すること。
- ◆ 老人や子ども、病人はできるだけ1階に寝かせること。
- ◆ 水バケツ、消火器を用意しましょう。

火事と救急車は

119番

は、瞬間最大十一メートルの西の風にあおられてたちまち燃え広がり、商店、住宅の密集地帯をなす家百四十二軒、非住家九十六軒の計二百三十八軒十八万五千平方メートルを全焼し午後六時過ぎに消えた。大館町の調べでは原因は不明だが、燃やしたクズの火が燃え移ったものとみられる見込みで戦後四度目の大火になった。(四週四十七、十八面)



12月いっぱい 市役所分室を廃止

(旧保健所あと)

庁舎の面積がせまいため、柴町に分室を設けて(建設課、農林課、農業委員会、大館土地改良区、大館市森林組合等)執務してきましたが、業務執行の不便はもとより市民サービスに欠けることが多く大へんご不便をかけた申しわけありませんでした。

幸いに9月定例議会で庁舎増築工事費の予算が議決され本庁舎の裏庭に木造モルタル二階建て、延面積約500㎡の別館を建築工事中です。この工事は12月中旬に完成しますので分室を一切廃止して全部を移転します。

入居課の配置は、市民サービスの面から再検討を加える必要があつてすでに本庁舎に入居している課との一部入れ替えをすることで検討を進めており、12月25～27日頃に引越作業を行ない年内にすべてを完了させ新年からは名実ともに面目を一新して執務いたします。(詳細は広報1月号に掲載)

また電話についても今まで分室各課の直通電話を移転と同時になくして、各課全部が代表①212の交換機を通して通話することになりますから、お間違いのないようにしてください。

ただし土地改良組合②0558、森林組合③6015はそのまま直通です。

「峠の家」 の工事急ピッチ

青年層の社会的、文化的教養の養成場、あわせて、市民の保養所として利用していただくこと、市がその建設を進めている「峠の家」は、いま急ピッチに工事が進められています。

建築場所は、矢立地区の下内沢というところで、国道7号線から日景温泉に行く途中に位置しています。

附近には、矢立峠、矢立温泉など、名所旧跡の多いところであつて、いまからその完成が待たれています。

